

Mémoire 2024

第41回 ホープフルステークス (GI)



無傷の3連勝 クロワデュノール

大怪我を乗り越えた鞍上とともに、圧巻の走りで戴冠を果たした。札幌2歳Sの覇者マジックサンズ、アイビーSの1、2着馬マスカレードボールとピコチャンブラック、黄菊賞で後の朝日杯フューチャリティS 2着馬ミュージアムマイルの2着と好走してきたヤマニンブークリエ。他にも京都2歳Sの2、3着馬ジョバンニとクラウドアイなど多くの実績馬が揃う中、単勝1.8倍と断然の支持を集めたのは、新馬、東京スポーツ杯2歳Sと2戦2勝のキタサンブラック産駒クロワデュノールだった。

ジュニアサヒソラが先導したレースは1,000 $\times$ 61秒4のスローペースで進んだ。遅い流れに痺れを切らしたように、向正面の中ほどでファウストラゼンが後方2、3番手から一気に上昇し、あっという間に先頭に並んでいく。中団を追走していたクロワデュノールも徐々に位置を上げ、3番手に並びかけながら4コーナーを回った。

直線、ファウストラゼンがジュニアサヒソラを競り落とす。しかしその時すでに、直後にはクロワデュノールが迫っていた。残り200 $\times$ で先頭に立つと、そこからさらにひと伸び。最後は追いつけたジョバンニ

に2馬身差をつけて、無傷の3連勝を達成した。

レース後、「馬が本当に強かったですし、馬を信じていました」と語った北村友一騎手は、これがクロノジェネシスの2020年有馬記念以来4年ぶりのGI勝ち。2021年に落馬で大怪我を負い、復帰には1年以上を要した北村騎手は「本当にたくさんの方々に助けていただいて、またここに導かれたと思います」と声を詰まらせた。

難しい展開となったが「北村騎手が上手く誘導してくれました」と鞍上を称えたのは、奇しくもクロノジェネシスも管理していた斉藤崇史調教師。「あの時できなかったことを、この馬で一緒にやっていけたら」と、同じコンビで挑む未来へと思いを馳せた。

第41回ホープフルステークス (GI)

12/28 中山競馬場 2,000 $\times$ (芝・右) 晴・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	クロワデュノール	牡	2	56	北村 友一	斉藤 崇史	2:00.5	①	⑦⑦④③
2	ジョバンニ	牡	2	56	松山 弘平	杉山 晴紀	2	⑥	⑦⑦⑨⑦
3	ファウストラゼン	牡	2	56	杉原 誠人	西村 真幸	1 1/4	⑦	⑩⑩⑥①①
4	ジュタ	牡	2	56	坂井 瑠星	矢作 芳人	1	⑧	⑤⑤⑦⑤
5	クラウドアイ	牡	2	56	西村 淳也	橋口 慎介	1 1/2	⑨	⑤⑤⑦⑦

クロワデュノール
栄光の蹄跡

6

キタサンブラック 112
クロワデュノール
ライジングクロス (Cape Cross)
2022.3.21 生 安平・ノーザンファーム



牡2 青鹿
56
北村 友一
1986.10.3 生 A型
南サンデーレーシング
斉藤 崇史 (栗東)

2024.11.16 東京
東京スポーツ杯2歳SGⅡ
9ト 1人 1 (112)
56 $\times$ 。北村 友一
芝1800良 1:46.8

2024.6.9 東京
メイクデビュー東京
11ト 3人 1 (—)
55 $\times$ 。北村 友一
芝1800良 1:46.7

